

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後デイサービスはぐっと		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 20日		R7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 20日		R7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	5名
○訪問先施設評価実施期間	R7年 1月 20日		R7年 2月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 5施設	(回答数)	5施設
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内で運営している訪問看護ステーションや放課後等デイサービス、児童発達支援事業所との連携を図ったうえでの支援がとりやすい。	同法人内での情報共有や事前の打ち合わせを事業所をまわって実施している。	個々の利用児に関する情報共有はだけでなく、保育所等訪問支援事業としての支援方針も共有していく。
2	訪問看護ステーションのセラピストが、訪問支援員として学校訪問も行っているため、自宅での様子も学校の先生と共有しやすい。	自宅での訪問看護の支援状況も踏まえた支援を実施している。	法人内での情報共有を蜜にとり、学校訪問できる人材を育成していく。
3	放課後等デイのスタッフが訪問支援員として学校訪問も行っているため、放課後等デイでの様子も学校の先生と共有しやすい。	放課後等デイでの支援状況も踏まえた支援を実施している。	保育所等訪問支援での様子を放課後等デイのスタッフと共有し、訪問支援の質を高める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフに保育所等訪問支援事業に関する制度の周知や運営や支援に関して、事業所としての方針をしっかりと周知できていない。	保育所等訪問支援事業に関わるスタッフが情報共有しあうようなしくみが事業所内でできていない(LINEWorks上では可能だが、活用が不十分)	今後、保育所等訪問支援事業としてのMTGの開催形態を検討
2	訪問先での対応された先生方への説明や、支援内容を保護者にお伝えすることが十分にできていない可能性がある。	対応された先生方や保護者の思いを事業所全体で把握することができていない。	支援に関する振り返りを行い、スタッフ間での情報共有の方法を検討していく。
3	訪問支援員自身も業務になれていないため、まだ支援内容の検討が事業所としてできていないことがある。	可能な範囲でスタッフ間で事前の打ち合わせをしている。	事前の打ち合わせの機会を増やす。